



狭山丘で恒例お花見会

桜花満開、晴天白日、美酒佳肴の三拍子揃ったお花見会が3月29日（土）に開かれました。心配しました前夜の降雨も早暁には上がり、まさしく朝からお花見日和になりました。

早朝6時には三宅会長と高部さんが眺望良い狭山丘好立地の場所を陣取り、買い物係は小野さん、土橋さんご夫妻、留守番役は芦田さん、会計は岡田が務めました。

参加者一番乗りは今年も高鷲さんで、3年連続の記録を作りました。酒、肴は10時半過ぎに土橋さんご夫妻が運転する車で会場に運び込まれて、垂涎のお花見御膳が整いました。

恒例参加になった国分寺稲門会はお花見会の評判からご夫人同伴も一組、大挙8名が「花見酒」を手土産に11時に到着されました。円座の中で11時過ぎに小野さんが開会宣言、三宅会長挨拶、国分寺稲門諸氏の紹介後、山下さんの乾杯発声で観桜の宴が始まりました。

梅花、桃花も混じる百花爛漫、陽光燦燦のもとで、稲門同志の車座のお花見会酒盛りは、仲間差入れの重厚でコク深い数々の地酒とお手製の甘辛両様の肴を分け合いながら、熟年男女の抱腹と談笑、意気軒昂に独自活動などを語り合いました。桜花に酔いしれ、ほんのり日焼けした35名の参加者は名残惜しくも15時過ぎに総立ちし、両肩組んで円陣をつくり、井原さんリードの「都の西北」合唱が声高らかに狭山丘の森に響き渡る中で散会しました。当日、満喫した差入れの銘酒は「臥龍梅」、「鶴齢」、「御岳山」、「菊水一番しぼり」、「松竹梅」ほかで、欠席の井垣さんから金一封のご寄付をいただきました。なお、宴の後の残塵は當間さんご夫妻に搬送していただきました。

3月29日開催の稲門会のお花見会参加者は以下の通りです。（敬称略）

1. 赤荻 洋一
 2. 朝木 吾朗
 3. 芦田 均
 4. 井原 徹
 5. 江藤 昌明
 6. 大西 幸夫
 7. 岡田 一郎
 8. 小野 智
 9. 風間 和夫
 10. 木谷 肇 　　ご夫妻
 11. 小林 傳
 12. 鈴木 国男
 13. 高橋 正夫
 14. 高部 素行
 15. 高鷲 近
 16. 田口 政澄
 17. 土橋 雄次
 18. 當間 昭治
 19. 戸田 志郎
 20. 長井 治
 21. 額田伊久夫
 22. 松永 常尚
 23. 三宅 良太 　　ご夫妻
 24. 山下 邦康 　　ご夫妻
- 国分寺稲門会 8名

計35名

報告 岡田一郎





○ 6月度定例役員会

日時 6月7日(土) 13:00～16:00
場所 市民センター 第6会議室
役員会の前にニュース封入作業があります。
会員の皆様はどなたでも参加できます。是非ご参加ください。

○ 6月度お誕生会 (担当幹事 南湖)

日時: 6月7日(土) 17:00～19:00
場所: 割烹「丸藤」久米川駅南口から徒歩1分
電話 042-395-5646

会費: 3,000円 (記念品を含む)

* 6月度お誕生の方々 (敬称略 17名)

伊川浩生・市川彰彦・井原徹・上素子・大内一男・風間和夫・加藤正俊・重原眞知子・
田口政澄・津野慶浩・當摩照夫・野村茂樹・北条進・細渕昌・安田忠治・山口洋司・吉本正典
・ご出席希望、また、誕生月該当者で、上記されていない方、担当幹事までご連絡ください。

○ 第58回雑学講座

日時: 7月5日(土) 15:00～16:30

場所: 未定

講師: 奥山康治氏 (早稲田大学名誉教授・当会会員)

演題: 「イギリス民謡と日本」

奥山氏は当会会員。昭和41年早稲田大学大学院文学研究科博士課程を修了、法学部で英語の教授として多くの学生を育てられました。

英文学が専門で、ジョージ・オーウェル研究の第一人者ですが、今回は日本人にもなじみ深いイギリス民謡「グリーンスリーブス」「ロモンド湖」を中心に、英語原語と日本語訳詩とを、BBC製作のビデオを見ながら楽しく解説していただきます。

○ 稲門会の年度会費納入の進捗状況

その後(3月26日から4月25日の期間)に稲門会の年度会費を納入いただきました会員は以下の方々です。(敬称略) なお、これまでに197名の方々が納入されました。

伊藤友己、大原康、尾上友男、姫野圭治、丹野寛、奥村幾正 以上6名 会計担当 岡田

○ 新入会員

大原 康(やすし)さん 昭和33商

〒189-0012 萩山町3-23-18 電話 042-393-4018

(福田昇七さんご紹介) 麻雀・音楽・旅行等に関心があります。

○ 他稲門会等出席

西東京稲門会第8回定時総会

5月25日(日) 11時30分～ 早大東伏見校舎

出席者 三宅会長・小亀事務局長

○ 代議員・商議員の選出について

2008年度は代議員(校友会)・商議員(大学)の改選年にあたり、大学から選出の依頼がありました。(任期2008年6月1日～2012年5月31日)

4月5日の役員会で当稲門会から下記の方々を選出致しました。

代議員・小亀事務局長(役職上の選出) 當摩彰子副会長 高鷲幹事

商議員・三宅会長(役職上の選出) 山下相談役(前会長) 小野幹事

○ 稲門祭実行委員の選出について

2008年稲門祭は10月26日(日)に行われますが、当稲門会から下記の方を実行委員に選出致しました。福引き券の購入等会員皆様のご協力をよろしくお願い致します。

當摩彰子副会長・高鷲 近幹事

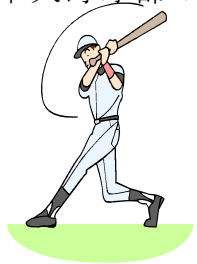
早稲田大学創立125周年記念 大学野球交流戦

3月のニュースでお知らせしましたが、去る3月25日（火）19時から西武ドームで、早稲田大学とシカゴ大学の最終戦が、奥島前総長の始球式で試合開始、10X-0で圧勝。今回は最終9回表に斉藤佑樹投手が登板、1イニングを3人でピシヤリと抑え、見事なピッチングに歓声があがりました。3月23日広島市民球場15-0、3月24日京セラドーム大阪8-1とつづけて72年ぶりの顔合わせとして注目された交流戦は3選大勝し、締めくくりは「都の西北」を声高らかに歌い終了致しました。春のリーグ戦においても創部107年を超える早大野球部の好成績を期待します。

（三宅）

私と神宮球場

井手 巖（S26政経）



私が神宮球場へ足を踏み入れたのは昭和十二年頃まだ小学四年生ぐらいの時に父に連れられて行ったのが最初だった。現代の人々には想像もつかないだろうが当時の東京六大学野球の人気たるや大変なもので、早明戦の際は球場を二重に取り巻く程の群衆が詰めかけていたし、早慶戦に至っては容易に切符を手にするにはできないくらいだった。

終戦の年に私は旧制第一早高へ入学し以後六年間にわたりワセダの一員として学生生活を送ったのだが、ワセダの試合がある時は授業などはそっちのけで仲間と共に神宮球場へ応援に駆けつけたもので、戦後初めて再開された東京六大学野球の試合に臨んだ名選手達の印象は今でも脳裏に生き生きと残っている。

後に南海ホークスで活躍した蔭山遊撃手の華麗なプレー、投手でもあり強打者でもあった荒川左翼手、又終戦の翌々年だったか満州から復員して来て優勝に貢献した石井藤吉郎右翼手等、球史を飾る名選手達の活躍ぶりは少年時代から野球好きだった私を一層野球気違いにしたと言えるだろう。

大学を出た後もシーズン中に一度か二度は神宮球場を訪れていた私だったが、社会人として荒波にもまれて暫くご無沙汰していたものの、七十五才になって漸く仕事から解放された私は再び血が騒いで野球気違いの道に戻ってしまったようだ。

三年程前の秋だったか閑散とした神宮球場の外野席の一隅で観戦していた私のすぐ近くに座を占めた老人と二言三言話を交わすうち、その老人がワセダの新制第一期生で旧制の最後だった私と同じ昭和二十六年に卒業しており、ワセダに限らず戦前からの有名選手についても知識があり、私に劣らぬ野球気違いであることが分かり、その友人に負けまいとするあまり私は東京六大学野球の春秋二シーズンの全ての試合における各野手の打撃成績及び各投手の投手成績を克明に記録すると言うバカみたいな仕事を始めたのである。勿論スポーツ紙の助けを借りてではあるが...

私は今年の春も神宮球場で同病の古き友人と共に白球の行方を目で追いながら、そして選手たちをこき下ろしながら、プレーの一つ一つをスコアブックに記入しつつ観戦することを楽しみにしている。

同好会だより

当会会員の方は、いずれの同好会にも自由に参加できます。

旅行同好会

世話人 風間和夫 TEL 394-5279
小亀輝雄 394-6951

お待たせ致しました！

いよいよ旅行会（5月15日（木）～16日（金））が近づいて参りました。

お手許の案内書をご確認のうえ、時間厳守にてご参集ください。

東村山駅東口8時出発。ご乗車のバスは「メモリー観光バス」です。

なお、今回の旅行会には柏崎稲門会から4人の方々が現地にお見えになる予定です。

また、東村山稲門会の設立にご尽力頂いた、当時市役所に勤務なさっていました水野要様もご出席の予定です。皆様のご協力を頂き楽しい思い出に残る旅行にしたいと思います。

園芸の会

世話人 當 摩 照 夫・彰 子 TEL 396-3033



4月16日、いつもの陽気なメンバーが15人集まって、本年2回目の園芸の会を當摩宅で開催いたしました。1月の厳寒の時期に植え付けたさくら草が見事な花をつけ、皆でそれらを愛でつつ人気投票を行いました。今年の春はこれも地球温暖化の影響か、寒い日が多かったせいで開花は遅れ気味でしたが、それでも丹精の甲斐あって、指南役の藤澤さんも驚く程の出来映えの鉢もありました。



投票の結果、第1位に山下夫人の作品が選ばれました。第2位は上位常連の當間夫妻、3位も山下夫人でした。その他の方もそれぞれ見事な花を持参されましたが、當摩だけはゼロ、ポーズでした。(次回反省して頑張ります。)

今回は下記の要領で春苗の交換会を行います。多数の参加をお待ちします。

日時 平成20年5月13日(火) 午後3時～5時
場所 東村山市市民スポーツセンター、スポーツクラブ室

ゴルフ同好会

世話人 堀 田 秀 夫 090-8339-7179



20年度第一回会長(第23回)杯ゴルフコンペについて

あいにくの荒天のため、順延となりました。順延の大会を下記のように行います。

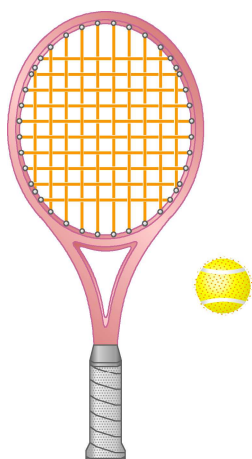
5月30日(金)
狭山カントリー倶楽部 042-936-1321
入間市大字下谷ヶ貫492
8:30から 西コース4組
費用 2万2千円程度

割引の恩典がありますので、運転免許証もしくは保険証を持参してください。

参加希望の方は、5月15日までに堀田の携帯にお聞かせください。なお、車の手配など後ほど連絡申し上げます。

テニス同好会

世話人 當 間 昭 治 TEL 391-6023



4月の例会は26日(土)久米川コートで実施。参加者は奥山、田島、小菅、當間の叔父に小亀さんと孫、江藤さんの奥さんに初参加の福田さんが加わり合計8名、にぎやかな会となりました。この時期にしては多少肌寒さもありましたが、多様なメンバーで皆さん元気にコートを走りました。新メンバーの加入は、実に楽しいものです。

5月は平日、6月は日曜日の開催となります。

記

日時 5月13日(火) 午後 3時～午後5時
6月 8日(日) 午前 11時～午後1時
場所 両日とも久米川コート3

俳句同好会 (稲酔会)

世話人 井垣和太 TEL 04-2924-2934



第37回「稲酔会」句会は4月26日(土)午後1時から、恩多ふれあいセンターで開催されました。

久し振りに元気な顔を見せた大西回生さんが会場へ一番乗り。その後、火吐四、稲雀、和夫、糸行、慎、北窓といった面々が定刻までに揃い、恵峰、瑞雄、竜湖の3氏の投句各5句を加えた50句を熱心に互選、合評を行いました。

当会は、所謂宗匠を戴かず、自由な雰囲気の中で和気藹々と時には辛辣な批評、感想を述べ合うという、大変勉強になる俳句同好会です。言い足りない分は「丸藤」での懇親会に場を移して、酒を酌み交わしながら更に突っ込んで語り合い、レベルアップを図っています。発足6年を経過してみなさん俳句についての造詣が一段と深まってきました。

今回の高点句は、大方の選を獲得した

燕来るお濠のそばの喫茶店 和夫

でした。

次回は6月14日(土)、市民センター(市役所前)第6会議室で開催します。兼題は「扇子」(稲雀記)

カラオケ同好会

世話人 芦田均 TEL 393-7525
内藤慎 393-5071



4月5日(土)午後7時過ぎにいつものとおり「カラオケランドズー」で5人の少数精鋭?で快調にスタートした。参加人数が少なかったため、いつもより多く各人4曲ずつ熱唱、不景気?を吹き飛ばすくらいの勢いだった。

・4月度参加者名〈敬称略 順不同〉

滝川正義・井垣和太・高部素行・内藤慎・芦田均

今後の近予定は、

5月度 10日(土) 午後7時10分～ 於「カラオケランドズー」

6月度 7日(土) 午後7時10分～ 於「カラオケランドズー」

俳壇

遅桜余生一つを持て余し 人住まぬ軒にツバメの巣跡あり	春曉の風来て鹿を微笑ます 傘たたむ駅に無頼なるつばめ	暮れなずむ谷中寺町藤の花 散る花を惜しむか郷の風静か	奥飛驒のその奥山の葱坊主 にじ鱈の池に雪解の水奔る	燕飛ぶ園児の帽子カラフルに 燕来るお濠のそばの喫茶店	初燕佐々木小次郎ご存知か 菊田一平	春耕の畝真つ直ぐや鳥の声 大野恵峰	麻酔覚め見上げる窓に春の雲 大西回生	退院し戻る我が家に初燕 大西回生	アルプスの白きに落ちる雲雀かな ご無沙汰はお互い様よ初燕	井垣稲雀	青雲やさくら背負いて滾る川 雨上がり春の校庭キラキラと	武者人形吾子は三十路と成り候 芦田火吐四	数列のごとき電線燕来る 武者人形吾子は三十路と成り候	夏来たる弁天堂の屋根の青 八木竜湖	つばくらや水車のまわる野辺の道 丸本北窓	陽を受けて眩しき山の残り雪 丸本北窓	春の雲一壘側は照り陰る 内藤慎
-------------------------------	-------------------------------	-------------------------------	------------------------------	-------------------------------	----------------------	----------------------	-----------------------	---------------------	---------------------------------	------	--------------------------------	-------------------------	-------------------------------	----------------------	-------------------------	-----------------------	--------------------

ウォーキングの会

世話人 高橋正夫 TEL 309-3407
土橋雄次 393-5708

第8回ウォーキングの会は「堰の歴史とともにある羽村」として、玉川上水の取入れ口を中心に歩きたいと思います。行きの電車は小作駅までを買ってください。

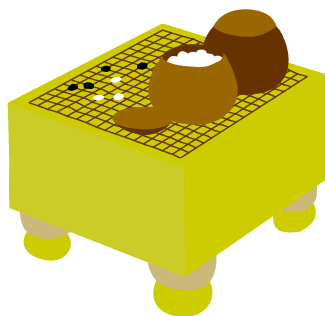


1. 集合日時 5月24日(土) 午前9時30分
雨天の場合は25日。
2. 集合場所 小川駅拝島方面行きホーム中程
3. 行程 小作駅～グリーントム公園～阿蘇神社～羽村堰～
郷土博物館～加美上水公園～田村酒造場～福生駅
約8km 所要時間4時間 (歩行2.5時間)

参加費無料。但し交通費・昼食・飲み物各自負担。
小雨の場合は8時までに高橋、または土橋に確認してください。

囲碁同好会

世話人 福田晃 TEL 394-0593
高鷲近 394-2336



○4月の例会は、4月19日(土)、市民センター別館第6会議室で開催されました。真剣な中にも和気藹々の楽しいひとときでした。参加者は、下記の11名です。(敬称略)

江藤、久世、佐久間、佐野、鈴木、高鷲、田島、中川、野村、福田、丸本

●6月の例会は、6月21日(土)を予定しています。詳細については、次号でご案内します。

○年1回開催される「オール早稲田囲碁大会」は、6月7日(土)、日本棋院で開催されます。我が東村山稲門会も参加する予定です。良い結果を報告できるように頑張ります。



4月度「お誕生会」報告

担当幹事：南湖修一 390-2287、芦田均 393-7525

誕生月該当者18名中7名、役員等で計19名の参加を得て、17時10分頃に開始した。三宅会長から「課題」への取り組みや4月の行事の成功と7名へのお祝いを交えた挨拶、風間副会長から4月の行事にちなんだお話の後に乾杯の音頭。全員のどを潤してからお誕生該当者へお祝いの言葉と一緒に三宅会長からの手渡しで記念品を一人一人に贈呈した。

石井久長様は現在64歳。保険関連のお仕事をされ、稲門会の新年会、総会にも参加。「今後でもできるだけ参加して行きたい」。68歳の小菅宏様。半導体メーカーに勤めていたが、今はフリーで携帯電話の気に入った着信音の研究？を。趣味は園芸、テニス及びウォーキング等(に興味津々)。今回初めて参加された滝川正義様は定年を迎えられ、奥様との昼食を作る労力軽減？の約束を履行、久米川駅近辺の麺類食べ歩き等によるお勧め店を紹介してくれた。63歳、当稲門会副会長の當間昭治様は東村山の青少年時代に触れた後、「父母が高齢で介護に関心、また、稲門会はじめ地元活動に頑張りたい」。79歳の成田延雄様は、戦中の学生時代やカメラ関連のお仕事の経験をお話戴いた。今は「技術師」の資格を活かされ、ボランティアで防災や労働安全の分野でご活躍されている。75歳の額田伊久夫様はご自身の豊富な経験に基づき「日本は(製造)技術で世界一」と。戦争中、千葉での機銃掃射からワンタッチで命拾いをされた松澤宏様。中3の時に東村山に来られ(多摩)全生園等での思い出話や「お母様(99歳)より先へ行けないので…」と。現在もシルバーで頑張っておられる。

ほろ酔いの懇談がしばらく続き、記念写真撮影、小亀事務局長の威勢の良い声にあわせて、肩組み合って校歌を斉唱し、楽しい2時間はあっという間に過ぎ去った。(芦田 記)



母が与えた故郷体験

窪田 淳治 (S40政経)

私の故郷は鹿児島県の薩摩半島東シナ海に面した南さつま市加世田小湊（平成の合併前は加世田市小湊）である。故郷は遠くに在りて想うもので、学生時代はともかく社会人になってからは数年に1～2回、3～4日の滞在しか出来ず、故郷をゆっくり味わうことがなかった。

人並みに会社人間、やがて定年退職、第二の人生を如何に過ごすか決めかねていた平成13年2月、故郷で1人住んで居た母が、くも膜下出血で倒れたため急遽帰郷、幸い一命は取り止めたもののその後5年3ヶ月の寝たきり生活になったのです。合わせて小生も約2ヶ月を故郷、半月を東村山という故郷中心の生活パターンが始まりました。

さて、これからの田舎の生活をどうしたものか？と思案。先ず実家の近くに40坪程の荒れた畑があり、これに手をつけて晴耕雨読の日々がスタートしました。近くの農家に指導を受けて、少々ながら、ナス、きゅうり、トマト、大根、たまねぎ、エンドウ、かぼちゃ、ほうれん草、じゃがいも、等々四季折々の野菜を手がけ、中には失敗作もありましたが何とか食べられるだけの収穫を得ました。自らの手足を使って耕し、草を取り、肥料を手で撒く感触は大地に触れて実に心地良いものです。芽が出れば毎朝の成長が、実がなれば日々大きくなるのが目に見えて楽しく、収穫して食べる時は最高でした。

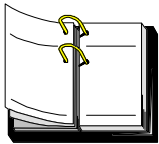
さて、食住が足りて次は健康の為にウォーキング。家から7～8分で日本有数の砂丘の一つ吹上浜があります。東シナ海に面した全長25～6kmの砂丘です。子供の頃とは地形は大分変わっているが潮の干満で2～3百メートルの潟ができ夏は潮干狩り、海水浴が可能です。この砂丘の海辺で朝夕4～5kmのウォーキングは心身共に爽やかになります。又近くに小さな漁港があり小中学時代の同級生が自分の漁船で捕獲した魚を届けてくれることも度々でした。4～5回ほど同乗して漁業の経験もしました。何とも言えぬ自然との出会いです。

次は思い出に残る二つの同窓会です。先ず小中学時代の同学年による還暦同窓会の実施。故郷在住の幹事と一緒に名簿作りから始め、全国から53名の出席、昔の面影のある者ない者が顔を合わせ、中には卒業以来45年ぶりの再会の人も多数おり、一番懐かしい同窓会です。各々歩んで来た人生についての意見交換はもちろん、遠い昔の子供の頃の思い出話に当時のいろいろなことが甦り懐かしさいっぱいでした。ほとんどの人が人生の第1ステージを終え、一息ついて過去を振り返り、人生80余年？の残り第2ステージを開こうとする区切りの年なのではないでしょうか？今なお「還暦同窓会」は恒例となっているようです。

そしてもう一つは高校同学年の同窓会です。丁度、定年後故郷Uターンした親友が居り2人で発案、小中学に比べ校区が広い為、在郷合わせて8名の幹事で数ヶ月掛かりで準備しました。高校に出向いて名簿の作成、各々旧友を想い浮かべつつ案内状を送付すると、卒業以来初開催の同窓会とあって皆が待っていたとばかりに海外からも賛同、217名卒業中71名の出席で盛大に開催しました。当時と場所が変わった母校に記念樹を植え発展を祈念し、夜は大宴会、当時の志を果した者、替えた者、挫折した者が各々議論、政治談議、時事放談の持論はあってもあの頃の思い出だけは変わらず歓談は夜更けまで続き、各々の40余年の空白が一気に埋った楽しい一日でした。この二つの同窓会は退職後の新しい思い出となり、その後も多数の友人と交流を続けています。

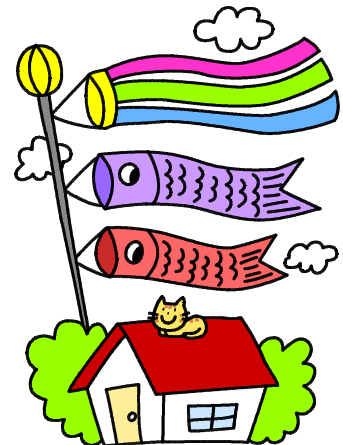
母の闘病が与えた思いがけない故郷体験は有難く、看病、介護の大変さと新たな楽しい思い出を創ってくれました。その間母は5つの病院を経て特別養護老人ホームで他界（平成18年5月）しました。持つべきは故郷、持つべきは同窓生、有難う母上！

* 因みに、加世田小湊は小泉元総理の父（旧姓鮫島）純也氏の出身地でもあります。



今月の行事（5月）

- 10日(土) 5月度役員会
雑学講座
お誕生会
カラオケ同好会
- 13日(火) テニス同好会
園芸の会
- 15日(木) ~16日(金) 旅行同好会
- 24日(土) ウォーキングの会
- 30日(金) ゴルフ同好会
- 6月の予定
- 7日(土) 6月度役員会
お誕生会
カラオケ同好会
- 8日(日) テニス同好会
- 14日(土) 俳句同好会
- 21日(土) 囲碁同好会
- 22日(日) 麻雀同好会



編集局だより

編集局：中村

○ご存じの通り「後期高齢者医療制度」や「特定健康診査」などの実施が4月から始まりました。私自身に関係あるのは特定健診ですが、母親は後期高齢者にあたります。この名称も不評なようで、別名「長寿医療制度」だとか。言い換えても中身は何も変わらないですよ。母は保険料が年金から天引きされると嘆いていました。私はメタボ対策として運動不足にならないよう気を付けることにしましょう。

○次号の原稿締め切りは5月24日(土)です。よろしくお願いいたします。

創立125周年記念事業募金報告会開催 200億円を達成！！

4月19日(土)新装なった大久保キャンパス63号館カフェテリアにて名誉賛助員等高額寄付者および募金実行委員等を招いて125周年募金の報告会が行われた。

3月末でNHKを退職した堀尾正明氏(フリーアナウンサー)の司会で会が進められ、初めに白井総長から多くの方々のご支援により4月17日現在202億円を超える申し込みを頂き、目標の200億円を達成することができたとの報告があり、募金実行委員長の岡田卓也氏(イオン株式会社名誉会長)に感謝状の贈呈があった。続いて奥島前総長の乾杯のあと、今年学部創設100周年を迎える理工学術院の橋本院長から、今年20億円の募金を行う趣旨説明とお願いの挨拶があった。

その後グリークラブの合唱、応援部のパフォーマンス等があり、目標達成ということもあり場内は明るい雰囲気になった。一時は目標達成が困難と思われたが、最後に早稲田の底力を発揮した形となった。

なお、東村山稲門会は目標達成率86.4%で、三多摩26市のうち7番目の成績であった。大学は今後も常時募金体制をとっており、寄付者の意向で、出身学部、奨学金、国際交流、博物館、スポーツ関係等いろいろな分野に特定して寄付が出来る仕組みになっていますので、金額は問いませんので今後とも皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

(小亀記)